

特別展 (1階展示室)

# 吉備路の文学者と十二支

2021年12月19日(日) ~ 2022年2月27日(日)

備前焼は  
岡山の有名な  
焼き物じゃ



西村春湖作  
備前焼「十二支番合より寅」

冬は、年賀状などで十二支が気になる季節です。十二支は中国の暦法で、子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の総称です。それぞれに動物をあて、年だけでなく、時刻、方角をあらわすこともできます。

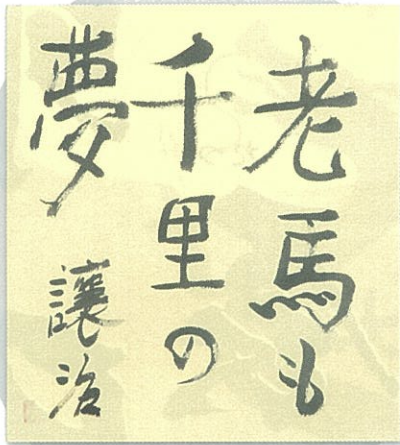
このように私たちの生活にごく自然にありながら、少々不思議でもある十二支に、改めて注目してみませんか。

特別展では、吉備路の文学者を十二支ごとに紹介しています。自分と同じ十二支の文学者をみつけて盛り上がりいただければと思います。どなたも気軽に、郷土の文学者に親しんでみてください。

また、十二支に関連する文学作品の展示と、久々に館収蔵品の備前焼も展示いたします。どうぞお楽しみに。

## おもな展示文学者

- 子年 吉行淳之介【大正13年(1924)生/小説家】
- 丑年 薄田泣菫【明治10年(1877)生/詩人・随筆家】  
内田百閒【明治22年(1889)生/小説家・随筆家】
- 寅年 坪田譲治【明治23年(1890)生/小説家・童話作家】  
横溝正史【明治35年(1902)生/小説家】
- 卯年 正宗白鳥【明治12年(1879)生/小説家・劇作家・文芸評論家】
- 辰年 妹尾アキ夫【明治25年(1892)生/翻訳家・小説家】  
延原 謙【明治25年(1892)生/翻訳家】
- 巳年 柴田錬三郎【大正6年(1917)生/小説家】  
時実新子【昭和4年(1929)生/川柳作家・エッセイスト】
- 午年 木村 毅【明治27年(1894)生/小説家・評論家・文学史家】  
永瀬清子【明治39年(1906)生/詩人】
- 未年 清水比庵【明治16年(1883)生/書家・歌人】
- 申年 竹久夢二【明治17年(1884)生/画家・詩人】
- 酉年 藤原審爾【大正10年(1921)生/小説家】
- 戌年 井伏鱒二【明治31年(1898)生/小説家】
- 亥年 中塚一碧楼【明治20年(1887)生/俳人】



坪田譲治筆  
色紙「老馬も千里の夢」



横溝正史著  
図書「犬神家の一族 金田一耕助探偵小説選」  
(東京文芸社/昭和29年)



井伏鱒二著  
図書「小黒坂の猪」(筑摩書房/昭和49年)

## 吉備路文学館

KIBIJI LITERARY MUSEUM

〒700-0807 岡山市北区南方 3-5-35

<交通のご案内>

JRでお越しの方: 岡山駅より徒歩15分、タクシー3分

バスでお越しの方: 岡電バス[妙善寺・三野公園]行、

または宇野バス[美作方面]行で「南方交番前」下車徒歩3分

お車でお越しの方: 文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。